令和７年６月９日

沖縄県知事　玉城　康裕　殿

読谷村における民間病院設立に関する要望書

貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

沖縄県中部地区の急性期病院は、主に東海岸沿いの市町村に集中しており、西海岸沿いには十分な医療機関が存在しておりません。そのため、西海岸沿いの地域住民は、救急や専門的な医療が必要な際に、東側の急性期病院への受診を余儀なくされており、高齢の患者やそのご家族にとって大きな負担となっております。

救急医療の観点からも、東側の救急病院まで搬送時間が 30 分以上かかることが多く、特に救命率に直結する医療開始までの時間短縮が求められる現状において、住民の近隣に一定規模の救急処置が可能な病院を設置することが急務であると考えます。

また、コロナ禍においては、中部地区西海岸に急性期病院がないため、住民の多くが東海岸の大型病院を受診しました。このことにより地域医療がひっ迫し、救急医療や外来診療に多大な影響を与えました。

読谷村に急性期機能を有する病院を設立することは、中部地区西海岸における救急医療、災害医療の確保に加え、今後増加する高齢者へのニーズに対して地域包括ケアシステムの構築においても非常に重要な意義を持つと考えます。また、これは中部地区全体の医療体制の改善にも寄与し、住民の生命と健康を守るために大きな貢献ができるものと確信しております。

つきましては、住民の安定した生活及び生命を守るため、民間病院の設立を強く要望いたします。

読谷村長　　石嶺　傳實

恩納村長　　長浜　善巳

北谷町長　　渡久地　政志